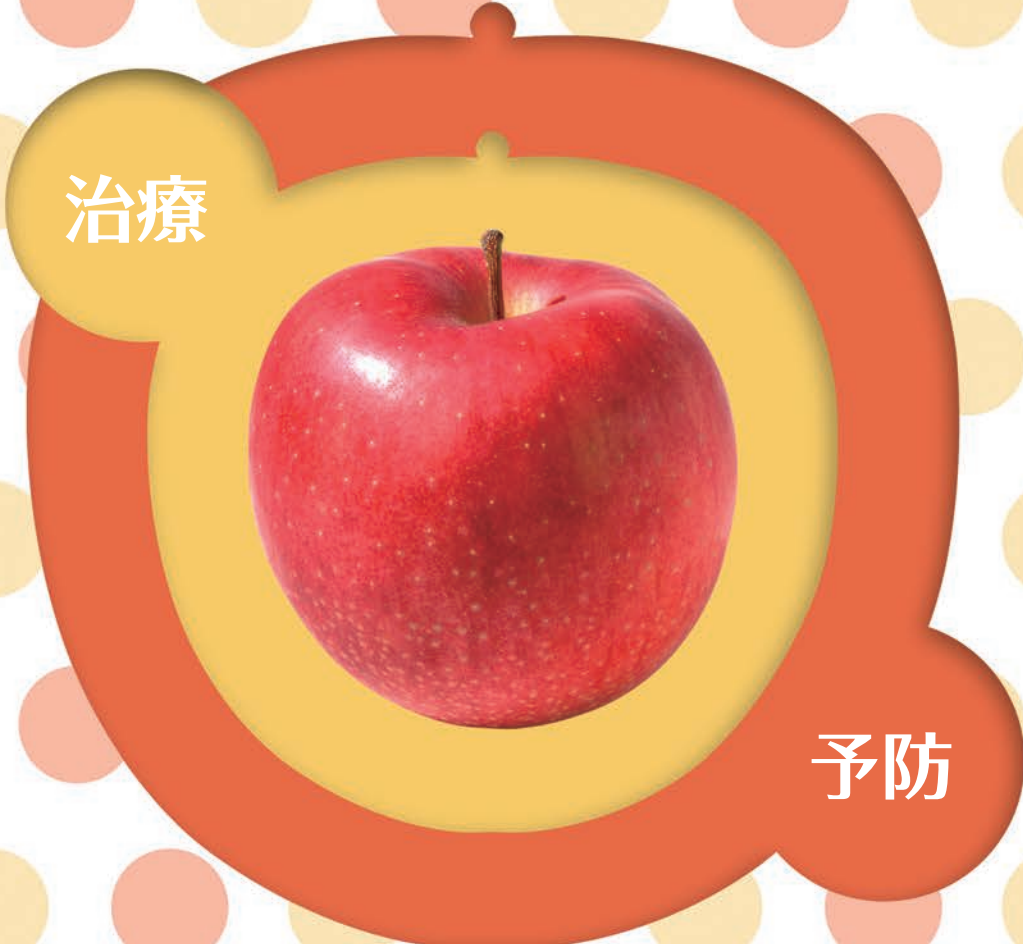


予防と治療に優れたラビライトが
りんごを病害から守ります。



クミアイ

ラビライト®

水和剤



炭疽病



すす点病



すす斑病



輪紋病



黒点病



黒星病



斑点落葉病



うどんこ病



褐斑病



腐らん病

■適用病害と使用方法(抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	チオファネートメチルを含む農業の総使用回数	マンネブを含む農業の総使用回数	使用方法
りんご	すす点病 すす斑病 黒点病 炭疽病 うどんこ病 褐斑病 黒星病 斑点落葉病 輪紋病 腐らん病	500~600	200~700ℓ/10a	収穫30日前まで	1回	10回以内 (塗布は3回以内) (灌注は1回以内) (散布は6回以内)	1回	散布

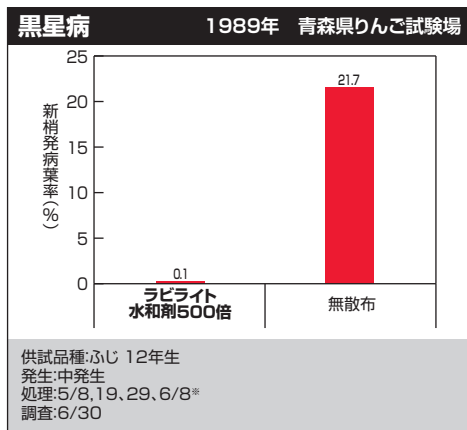
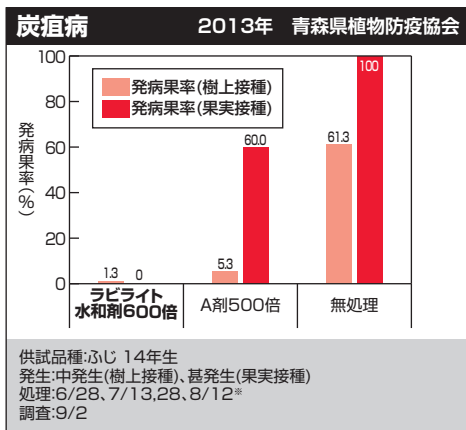
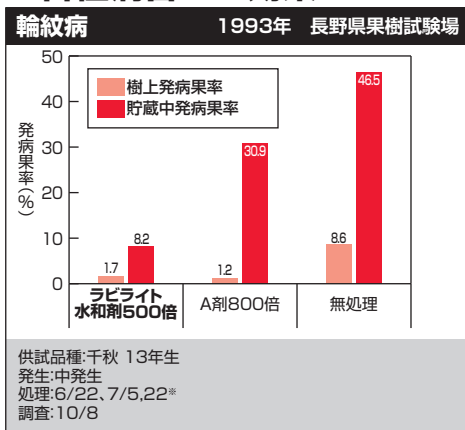
■各種病害の発生時期と散布適期

ラビライトおすすめ時期

	3月下旬 (発芽10日前)	発芽10日後	開花直前	落花期	5月中下旬 (落花10~15日後)	6月上旬頃	6月中旬頃	6月下旬頃	7月上旬頃	7月中下旬頃	8月上旬頃	8月下旬頃	9月上旬頃	9月中下旬頃	12月上旬頃
黒星病		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
うどんこ病	○	○	○	○	○	○	○	○							
黒点病				○	○	○	○	○							
褐斑病					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
斑点落葉病					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
すす点病・すす斑病						○	○	○	○	○	○	○	○	○	
輪紋病							○	○	○	○	○	○	○	○	
炭疽病							○	○	○	○	○	○	○	○	
腐らん病	○	○	○	○	○	○(枝腐らん)	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■防除期間 ○防除時期 ●重要防除時期

■各種病害への効果 (※登録上のりんごへの使用回数は1回なのでご注意ください。)



⚠️効果・薬害などの注意(抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- アルカリ性薬剤および銅剤との混用はさけてください。また銅を含む薬剤との連用は薬害のおそれがあるのでさけてください。これらの薬剤との散布間隔は7日以上おいてください。
- りんごに使用する場合、葉面散布肥料との混用は薬害が生じるおそれがあるのでさけてください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の養蜂にはかからないようにしてください。
- 本剤を使用した場合には、ペノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種卵への処理及び塗布処理は除きます。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠️安全使用上の注意

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物への影響：水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

てください。使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は河川などに流さないでください。また、空容器、空袋などは、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。(高温下、および湿気を吸うと分解して効力が低下します。)

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

本資料は2024年10月現在の登録内容に基づいています。